

幼兒教育雜感

白山生



一、頑迷なる教育

明治の初年より今日に至る迄我國の教育は其理論に於ても其方法に於ても將た又法制の上にて幾數偏の變遷をして今日に至つたので之を夫々當初の輸入時代に比べて見ると何れも驚くばかりの變化發達をして居るのであるが獨り最も頑迷で、そして餘り發達をして居ないのは我幼兒教育であると思ふ。何故と云ふに我國教育の特徴として小学校其他の教育は全國何れの地方へ行つても一定の理論が立てられ一定の方法が施されて居る。尠くも我國に輸入されたものは其獨式たると佛式たると英たると米であることに論なく頓がては渾然融和せられて統一した一定の主義方針のみに全國劃一的に施行されるものであるが獨り我幼兒教育の

みは未だに我國輸入當時の保育法其儘で餘り進歩して居ないのがあるかと思ふと一方には純米國式で米國の現状を其儘移植することに努めて居るのである。何れも其頑迷なことはお話しにならない位で唯もをフレibel其人が神様でいゝあるかの様に考へて居る類の人が若しくはフレibelの神秘的な保育論を一派の教育即ち宗教々々に利用し様とする類の人で進歩とか發達とかには餘り熱心でない人々で頑迷の度に於ては等しく度しがたい方である。處が是にも増して度しがたい類の人がある夫れは、何々の主義とか、斯く／＼の方針とか云ふ一旗幟を立て、一方に割據して他を睥睨して居る類の人で、是等の人々に遇ふと其眞意氣の荒いこと實に凄まじいもので大抵なものは吹飛ばされてしまひさうである。夫れも研究的に吾人は斯く々々の實驗を得たとか、或は斯く々々の新思想を得たとか云ふて教へて呉れるならば眞意氣の荒いのも決して困りはしないが、道理も理屈もわけるものか心理學の講義は心理學者に聞け、教育學理は教育學書にある。吾等は單に吾等の主義を

主張するので是即ち吾等の特色、吾等の長所で、
以て他を睥睨す可く、以て他を輕侮す可しと云ふ
様なことでは誠に我幼児教育界の爲めに慨せざる
を得ない。

幼児教育も同じ教育の中である以上は幼児教育上
の一事一件は悉く何等かの原理法則を有するに
違ひなく而して之等の原理や原則は決して一個人
の私有す可きものでなく廣く科學上の成果物とし
て等しく万人の其利益を享有す可きものであらう
と思ふ。従つて問ふ人あらば己れの採る所の主義
主張は快く教示して以て後進の誘掖に資す可く
以て同人の研究に資す可きである。然るに我國の
幼稚園教育は不幸にして斯る割據的人々が其處此
處に居る。そして各其採る所を固執して毫も科
學的研究と云ふことをしない斯る有様では我幼稚
園教育は如何にして進歩す可きか又全國數派に分
れて居る此幼稚園教育は果して何時になつて統一
することが出来るであらうか。誠に慨嘆す可き限
りである。

二、幼児教育の根本的改良

積木の數を加減したり、恩物の一つ二つを加除し
たりすることも改良には違ひないが斯んな姑息な
改良は何れだけの効果があらうか、勿論効果のな
いことはないが是より一層有益で一層急務なの
は幼児教育の根本より其法則を組立つることであ
る。否組立替をするのである。

フレイベルの學說尊きことは尊きに違ひないが是
を其儘今日に行ふとしては餘りに神秘的で餘りに
非科學的である。フ氏の言論は大に吾人に教ゆる
所が多いけれども去りとして是のみを以て満足する
には少し不充分である。是は決して單に吾人の自
負ではない。今日の教育家恐らくは悉く皆斯る
思想を持つて居るであらうと思ふ。既にフ氏の教
育説が今日に於て改造される必要があるとしたな
らば之が完全なる組立は吾人幼児教育に與るもの
任務ではあるまいか、幼児教育の根本的改良が
出來れば従つて其從屬的副次的改良は自然になさ
れるに相違なく、從來諸方より蒙つた幼稚園教育
非難の聲も自ら消滅する筈であるが是が充分に達
せられぬ中は幼稚園攻撃の聲は何時迄も續くに違

ひないと思ふ。

三、現在教育學の不備

幼兒教育の根本的改良は右の様に其理論的方面の組織換に因らなければならぬが此根本的理論の組織は教育學の責任であり、教育學者の責任である。現在の様に保育法と云ふものが教育學の範圍外に獨立して怪しげな理論や不統一な寄木細工然たる理論を據どころとして暗中物を探ぐる様な教育の仕方して居つたのでは何時の時に幼兒教育の改良が出来やうか誠に概はしい次第である。併し是も詮ずる所現在の教育學が不精不備で幼兒教育の方法を指示することが精しくないからであると云はねばならぬ。従つて今日の教育學者たるものが此方面に向つての研究に力を致すことが充分でない結果であると云つても決して過言ではあるまいと思ふ。斯う考へて見ると思ひ出すことがある。今となると一昨年暮であるが京都大學の谷本博士は明治四十年を以て幼稚園に關する教育説の解決せらるゝ時期であると云はれたが其明治四十年は

首尾よく舊臘を以て終を告げて今茲に明治四十一年の新春を迎へることゝなつたが初て舊年中に如何なる解決を見たかと云ふに唯同博士が一回京坂神聯合保育會に於て幼稚園不必要の演説があつたばかりで別に之と云ふ解決を見ると云ふ譯には行かなかつた。斯様にして幼兒教育と云ふものが今日の教育學者の眼から逸して居る間は幼兒教育は決して發展す可きものでない。幼兒教育の理論は何時になつたら教育學の中に説かれるであらうか俟ちどうしい次第である。

四、小學校と幼稚園

博士や學者と云はれる人々の側からは幼稚園の必要は單に貧民救助と云ふ社會政策上からのものとされて居るに拘らず地方の小學校の教員中には往々幼稚園に關して多大の興味を持つて居る人があつて漸次此方面の教育が研究される様になり或は其學校に附設の幼稚園を設け様として居るのを見る様になつたのは誠に喜ばしい現象である。斯くして幼兒教育は實地に研究され、實際に普及す

る様にすれば我國の普通教育は間然する所なく行はるゝものと云ふことが出来、教育學は實地の方面より改良を強いられる様になるであらう。是は頗る快心事である。吾人は斯る状態の一日も早く來らんことを切望して止まぬのである。

五、幼兒教育者と教育學

以上述べるところで吾人は主として現在の教育學者を攻撃したが併し罪は是ばかりでなく幼兒教育者其人の方にもあると思ふ。余輩の狭き經驗の範圍では幼兒教育に興る人で常に教育學書を播いて居る人と云ふものは極めて稀である様だ。若し果して是が一般の實狀であるならば我國幼兒教育の進歩せざる理由の一半は此方でも其責任を負はなければなるまいと思ふ。幼兒教育も教育事業の中である以上は教育學の理論は謹んで服膺しなければならず又教育學の理論に反した教育法は幼兒教育であるからして赦さる可き筈がないから何の道教育學は幼兒教育上の規準とならなければならぬ。従つて幼兒教育者は常に教育の原理に就いて考へ

て居なければならぬ。決して一部の保育法のみを以て満足す可きものではないのである。人或は保育法を以て一種特別なる教育法の様に思ふて居るかも知れんが決して左様のものではなくて矢張一般教育中のものたることは間違ひなことである。唯之を幼兒に實施するに當つて特別なる技術を要するところが普通の小學校教師と幼稚園保姆との差別を生ぜしめる次第である。

▲一錢かニツケルか

余の紐帯に在るや、友を訪はんとし、一男兒に問ふに路を以てす、彼れは懇切に教へたり更に彼れに問ふ『どうだ己れと一處に行かぬか』彼れ答へて曰く『一仙かニツケルか』ウソ五仙だ』彼れ狂喜して曰く『君よ、僕は行くよ』二三の兒童忽ち之を聞きつけ『己れも行く、五仙呉れるん』余は宛も是れ鬼ヶ島征伐、桃太郎といふ位置に立てり『一人て澤山だとして、前の一兒を伴ふて歩を進むれば、數兒ぞろろくと追尾し來り『五仙呉れ』ニツケル呉れ』と叫びて已まず、遂に余が友人の住へる家の前まで、叫びつゝ來れり、其根氣の強き、實に驚くに堪へたり